

日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2018.4.19 No.297

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp

第7期介護保険制度改定による影響は深刻

介護保険料 今回もまた値上げ…

杉並区の介護保険料基準月額推移

第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期
H12~ H14	H15~ H17	H18~ H20	H21~ H23	H24~ H26	H27~ H29	H30~ H32
2940円	3000円	4200円	4000円	5200円	5700円	6200円
—	+60	+1200	-200	+1200	+500	+500

※基準月額

第1期～第3期 本人が区民税非課税で他の世帯員が区民税課税。

第4期～ 本人が区民税非課税で他の世帯員が区民税課税であり、本人の合計所得額と課税年金収入額の合計が80万を超える方。

国に対し、国庫負担割合を抜本的に引き上げるよう求めるとともに、区独自に保険料軽減のため一般財源からの繰入を検討すべきと求めました。

区は、生計困難者への負担軽減策は継続するが、負担軽減のための一般会計からの繰入は適当でないとの見解を示しました。

この間の介護報酬の引き下げにより、区内の介護事業所は重大な影響を受けていますが、第7期の報酬改定では、大規模デイサービスの報酬が大幅に引き下げられました。既に区内の大規模デイサービス事業者からは、サービスを縮小せざるを得ない等の深刻な声が寄せられています。

介護改悪から区民生活を守れ

全国の各自治体における介護保険料の基準平均月額推移



介護保険料負担軽減のための一般会計からの繰入は法的に規制されているものではなく、党国会議員団の質疑に対し、国もそれを認めています。

区民の声に耳を傾けない区長の政治姿勢

意見交換会での意見の概要と区の方針

No	意見の概要	区の方針
(2)産業商工会館に関する事		
51	○現計画は産業商工会館などが老朽化に伴い移一と複合化しなければならぬということを大前提に検討が始まったが、産業商工会館を15年間延長して使用しても大丈夫だとはどうなのか。	産業商工会館は老朽化が進んでおり、減築したホール機能を確保できていない状態が続いているため、産業振興やにぎわい創出の観点から、早期に施設整備できるという点では、A案が望ましいと考えています。 一方で、B案では、同様に駅至近の移一小跡地に整備する建物内に産業商工会館を移転するとともに、集客力の高い商業施設などを誘致することで、移転・充実を図るホール・展示場の機能をより効果的に活用するなど、新たなにぎわい創出に繋がる取組が期待できます。 新たな建物には、産業商工会館を移転し、新たな権利を有する面積に余裕があることから、関連団体事務所を含めた産業振興センターの移転等の検討が可能となります。その場合は、産業団体の会合、見本市、講演会、ビジネスマッチングなどのイベントと融資・経営相談を一体的に実施するなど、産業振興関連施設の集約化による新たな取組も可能になると考えています。
52	○A案は早期に整備できるのに、産業商工会館の移転を急がないという事は、15年間、産業振興は推進していくのか。	

「集客力の高い商業施設などを誘致することで、(中略)新たなにぎわい創出に繋がる取組が期待できます。」と記載。

阿佐谷地域のまちづくりに関して、昨年、杉並区が示した杉並第一小学校等施設整備方針について、多くの懸念や疑問点が出されています。区が示した方針では、阿佐谷地域を代表する緑地が大きく削減されます。また、近隣の子どもの達の利用率が高かったけやき公園プールも廃止されます。杉一小跡地への整備が検討されている大規模商業施設は地域の商売に大きな打撃を与えることが懸念されています。

質問では地域住民から出されている不安の声を紹介し、区の方針が区民の声を吸い上げること無く決定されている問題を指摘。区民の声に基づいた計画へと見直すよう求めました。

「商業施設」と示しながら責任を棚上げ

質問に対し、区長が答弁に立ち、杉一小跡地に建設予定の施設について「商業施設などとは決まっていらない。共産党が住民の不安を煽っている」などと、事実に基づかない暴論を展開。党区議団を攻撃しました。

区民の声を紹介し計画の見直しを求める

区が示した方針では、阿佐谷地域を代表する緑地が大きく削減されます。また、近隣の子どもの達の利用率が高かったけやき公園プールも廃止されます。杉一小跡地への整備が検討されている大規模商業施設は地域の商売に大きな打撃を与えることが懸念されています。

区長の暴論に対し、撤回・謝罪を求める

党区議団は、区が作成した文書(上記)なども取り上げ、区長の発言が自らの責任を棚上げし、事実に基づかないものであることを厳しく指摘。謝罪と撤回を求めました。

区長は「商業施設の中身が決まっていけない」などと自らの答弁をすり替え、謝罪も撤回もしませんでした。

区民の声に耳を傾けない区長の政治姿勢が厳しく問われます。

区長・区議補選で勝利を！杉並後援会バス旅行108名参加

4月上旬、日本共産党杉並後援会の一泊二日バス旅行が行なわれました。5名の区議会議員と野垣あきこ区議補選予定候補、原田あきら都議、各区議地域の後援会員総勢108名が参加。

成田山新勝寺、笠森観音などを散策。夕食会では参加者が出し物を披露。区議団と野垣予定候補、原田都議は毎年恒例の寸劇を披露。

今回は田中区長による区政私物化(公用車問題)をテーマにそれぞれの役を熱演しました。交流を深め、区長線に向けて、勝利の決意を固めました。



会場は大盛り上がり。左から山田(副区長役)、くすやま(本人)、野垣(ナレーター)の3名。

育メン日誌

頼りになるお姉さん！

一番下の子は、間もなく8カ月。ポチポチ人見知りを始める時期です。最近、苦労するのが寝かし付け。私の寝かし付けだと大泣きで全く寝ません(父が泣きたくなります...)。兄・姉と寝かし付け達人になったつもりでしたが、なぜ???

さて、そのような事態で大変頼りになるのがお姉さんの存在(4歳)。妹を膝にのせ、トントン叩きながら瞬く間に寝かしつけてくれます。親も感心する手際の良さ!!

子ども達の成長の早さを実感する日々です。



頼りになるお姉さんです。